

Eat Well, Live Well.
Aji
AJINOMOTO.

野菜にも、花ことばがありました。



トマトは栄養が豊富で、古くから「トマトのある家に胃痛なし」ということわざがあるほど。その恩恵に感謝する気持ちを込めてつけられた花ことばです。



その見た目通り、鮮やかな黄色の粒がぎっしり詰まったように実ることからつけた花ことばが「財宝」。とうもろこしを食べるときにぜひ思い出してください。



ネギは収穫時に生長点から下を残して切れば、再び葉が生えてきます。つまり何度切っても収穫できる。そんなネギの忍耐力にちなんだ花ことばですね。



じつは私たちがふだん食べているのはオクラの若い果実。収穫しないままでおくと、すぐにげっそりと身が細ってしまうことからつけられたのが「恋の病」です。



「ハナヤサイ」という和名のとおり、カリフラワーは開花するとポップコーンがはじけたような花姿に見えることから、賑やかなイメージが似合います。



栄養価が高いのに、ピーマンと同じように敬遠されがちな野菜、パプリカ。そんな境遇をとらえて、ちょっぴり切ない花ことばが与えられました。



野菜にも「花ことば」があるのをご存知ですか？
古今東西古くから、ひとは野菜の姿や個性にふれて自由な想像を広げてきました。
野菜たちに込められたメッセージ。ぜひ味わってみてください。
味の素株式会社はラブベジ®をはじめ、野菜が美味しい食卓を応援しています。
花ことばの内容や由来には諸説があります。

知れば知るほど、野菜は愛しい。